

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月9日

上場会社名 株式会社S T I フードホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2932 URL https://www.shintokyo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 十見 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務本部長 (氏名) 高橋 敏 TEL 03 (3479) 6956
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	16,727	—	893	—	857	—	536	—
2019年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 528百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	107.17	104.47
2019年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2019年12月期第3四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第3四半期の数値及び2020年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、2020年6月30日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	10,211	2,928	28.7
2019年12月期	9,200	1,959	21.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 2,927百万円 2019年12月期 1,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	75.00	65.00	140.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

- (注) 1. 当社は、2020年6月30日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2019年12月については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
 2. 2020年12月期（予想）配当につきましては、現時点では具体的な配当金額は未定です。

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	11.4	1,100	107.0	1,050	77.6	680	49.1	132.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2020年6月30日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ヤマトミ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	5,300,500株	2019年12月期	5,000,500株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	－株	2019年12月期	500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	5,006,556株	2019年12月期3Q	－株

(注) 1. 当社は、2020年6月30日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 当社は、2019年12月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第3四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは食品製造販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いております。足元においては、感染防止対策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、持ち直しの動きが続くことが期待されつつも、依然として感染症の動向を注視しなければならない状況は継続しており、先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染防止に伴ういわゆる「巣ごもり消費」による需要増加が見られた一方、インバウンド旅客の減少など、「新たな日常」による個人消費行動の変化への対応を迫られていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により外国人研修生の入国が実質制限されていることなどにより工場の従業員不足の懸念が続いており、経営環境は厳しい状況となっております。

このような環境の中、当社グループは引き続き「持続可能な原材料・製造への取り組み」「フードロスの削減への取り組み」「環境への配慮」「原料調達から製造・販売まで一貫した垂直統合型の展開」「健康志向と魚文化を重視した中食への取り組み」を基本方針に掲げ、中長期的な企業価値向上と持続的な成長の実現に取り組んでおります。また、新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るう中、食品メーカーとして従業員と消費者の安全と安心のために、安定した製造・供給を継続すべく、当社グループ全体で食品メーカーとして社会的に重要な使命の遂行に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、サバや銀鮭等の焼魚を中心としたチルド惣菜製品およびカップサラダ製品等が堅調に推移し、16,727百万円となりました。

損益面では、グループ子会社（生産工場）における原価管理の改善が進んでいることも奏功し、営業利益は893百万円、経常利益は857百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は536百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より1,010百万円増加して、10,211百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて510百万円増加し、5,665百万円となりました。この主な要因は、商品及び製品が308百万円減少した一方で、現金及び預金が195百万円、原材料及び貯蔵品が472百万円増加したことによるものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ500百万円増加し、4,545百万円となりました。この主な要因は、建物及び構築物（純額）が358百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より42百万円増加し、7,283百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて270百万円増加し、5,103百万円となりました。この主な要因は、買掛金が296百万円減少した一方で、短期借入金が453百万円増加したことによるものであります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて227百万円減少し、2,180百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が377百万円減少したことによるものであります。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて968百万円増加し、2,928百万円となりました。この主な要因は、新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ263百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益536百万円計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末における自己資本比率は、前連結会計年度末より7.5ポイント上昇し、28.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,541,055	1,736,599
受取手形及び売掛金	2,258,459	2,403,421
商品及び製品	941,990	633,086
仕掛品	25,594	36,624
原材料及び貯蔵品	203,093	675,208
その他	185,283	181,008
流動資産合計	5,155,476	5,665,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,590,515	1,948,753
機械装置及び運搬具(純額)	454,413	467,991
リース資産(純額)	725,297	811,310
その他(純額)	354,971	437,548
有形固定資産合計	3,125,199	3,665,603
無形固定資産		
のれん	158,947	127,157
その他	387,390	397,839
無形固定資産合計	546,338	524,997
投資その他の資産	373,863	355,031
固定資産合計	4,045,401	4,545,632
資産合計	9,200,877	10,211,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,879,307	2,582,768
短期借入金	—	453,888
1年内返済予定の長期借入金	510,780	492,980
未払法人税等	166,417	207,714
賞与引当金	9,225	80,373
その他	1,267,095	1,285,534
流動負債合計	4,832,825	5,103,260
固定負債		
長期借入金	1,167,602	789,685
退職給付に係る負債	—	1,836
資産除去債務	167,815	169,400
その他	1,072,799	1,219,367
固定負債合計	2,408,217	2,180,289
負債合計	7,241,042	7,283,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	363,564
資本剰余金	—	263,564
利益剰余金	1,838,409	2,299,504
株主資本合計	1,938,409	2,926,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	604	△1,681
為替換算調整勘定	6,129	2,730
その他の包括利益累計額合計	6,733	1,048
新株予約権	350	350
非支配株主持分	14,342	—
純資産合計	1,959,835	2,928,032
負債純資産合計	9,200,877	10,211,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	16,727,603
売上原価	12,326,226
売上総利益	4,401,376
販売費及び一般管理費	3,507,684
営業利益	893,692
営業外収益	
受取利息及び配当金	3,381
物品売却益	20,136
受取補償金	7,298
その他	13,851
営業外収益合計	44,668
営業外費用	
支払利息	23,799
支払手数料	22,541
上場関連費用	28,707
その他	5,914
営業外費用合計	80,963
経常利益	857,397
特別利益	
負ののれん発生益	9,039
特別利益合計	9,039
特別損失	
固定資産除却損	9,356
その他	1,163
特別損失合計	10,520
税金等調整前四半期純利益	855,916
法人税等	321,147
四半期純利益	534,769
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,779
親会社株主に帰属する四半期純利益	536,549

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	534,769
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,285
為替換算調整勘定	△3,924
その他の包括利益合計	△6,209
四半期包括利益	528,560
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	530,864
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,304

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年9月25日付で東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。上場にあたり、2020年9月24日を払込期日とする公募（ブックビルディングによる公募）による新株の発行300,000株により資本金及び資本準備金がそれぞれ263,564千円増加し、当第3四半期連結会計期間末における資本金は363,564千円、資本剰余金は263,564千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。